

「若狭みはま」のロゴマークが完成！

町では、北陸新幹線敦賀開業や令和7年に開催される大阪・関西万博等を見据え、三方五湖エリアを中心に町内観光資源の磨き上げを行ってきました。

今年度からは、持続可能な観光産業の構築を目指し、観光アドバイザーの指導・助言の下、地域ブランドの確立に向けた取り組みを進めています。

この程、コミュニケーションを誘発するロゴマークを制作するとともに、新たなブランドホームページとSNSを開設しました。

今後は、ロゴマークを活用した観光PRを行うとともに、ブランドホームページの充実を図る等、美浜の魅力を発信し、交流人口の拡大を図っていきます。



秘密にしたい、景色がある。

若狭みはま

Concept

— 概念 —



①水のゆらめきと光に反射する水面をモザイクのようなタッチで表現。デザインには、解像度を上げると景色が鮮明になっていく様子も込められています。

②本町には、素晴らしい景色(もの・こと・人)が満ちていますが、一方で、まだ知られていない景色もたくさんあります。見てみたい、行ってみたいと興味・関心を引き立てるフレーズとしました。

Media

— 観光PR媒体 —

シンボルマークを連ねたオリジナルパターンを法被やのぼり等に配置することで、柄として視覚的認知を向上させ、ブランドとして強く印象付けていきます。



ブランドホームページ



Instagram



Facebook



ホームページ等はこちら

※お問い合わせ先 町観光誘客課(担当・和多田) ☎32-6705

わたしの夢、語ります

石場 悠斗^{はると}さん 美浜東小学校 6年(菅浜)

みんなが楽しく乗れる電車に

僕の将来の夢は、JRのスタッフとして働くことです。北陸本線で車掌をしたいし、小浜線で運転手をしたいと思っています。

僕は電車のことにとっても興味があります。鉄道の写真を撮ることが大好きで、お気に入りの駅は「新足田」です。家にはNゲージの鉄道模型もあり、レールをつなげていくことは、とても楽しいです。また、毎日の自主学習では、全国の鉄道のことを調べてまとめたり、図を描いたりしています。

鉄道会社で働くために、マイペースに過ごすだけではなく、時間を意識して行動していきたいです。

そして、自分のやるべきことに集中して取り組みたいと思っています。



CONTENTS 目次 広報みはま2024年4月号

- 2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 「若狭みはま」のロゴマークが完成！
- 4 福井大学×美浜町から生まれた みんなでまちづくりプロジェクト活動報告会
- 5 災害に備えて今一度我が家の戸別受信機の点検をしましょう！
- 6 まちウォッチング THE TAO 夢幻響／北陸新幹線ウェルカム給食／なびゲランド感謝祭 他
- 9 美浜発電所の状況について
- 10 情報BOX 道の駅若狭美浜はまびよりの定休日変更について 他
- 15 ふるさと昔もやま話144／文芸欄
- 16 すこやか放送局
- 18 ハートフル広場 はじめてバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 20 暮らしのカレンダー

- 表紙の写真 -



3月3日に、美浜西小学校体育館で行われた第57回美浜町民剣道大会です。

静まり返った会場に選手の気迫あふれる声と相手に向かって踏み込む足音が響き渡り、一瞬の攻防が勝敗を決めていました。

- 結果 -

- ◎小学生の部 優勝 荒木 妃依 準優勝 村上 陽向 第3位 樋口 鳳楽
- ◎高校一般の部 優勝 田邊 卓士 準優勝 崎元 雄紀 第3位 石丸 陽一郎

災害に備えて今一度我が家の戸別受信機の点検をしましょう！

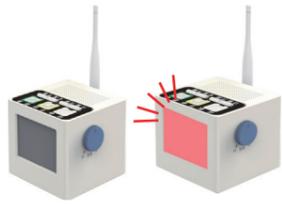
町では、大雨や地震、津波等の緊急時をはじめ、各種情報を伝達するツールとして戸別受信機を1世帯につき1台貸与していますが、配布されてから乾電池を一度も交換していない方は、この機会に戸別受信機の点検も兼ねて、乾電池の交換をしましょう。

また、使用中に次のような症状が出た場合は、電池の残量不足が疑われますので、戸別受信機本体の再起動及び電池交換を行ってください。

戸別受信機本体の再起動及び電池交換の手順は次のとおりです。

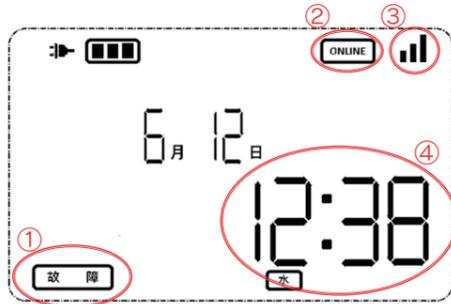
◆電池残量不足

- ・画面に何も表示されない
- ・画面が赤く点滅する
- ・カチカチと音が鳴る
- ・起動しない



◆その他の症状

- ①「故障」表示が点灯
- ②「ONLINE」と表示されない
- ③受信バーが1本も出ない
- ④時刻が合わない
- ⑤放送が流れない
- ⑥チャイム音が鳴るが、音声流れない等、故障が疑われる症状



再起動 + 電池交換

再起動

▶再起動の手順

1 コンセントからコードを抜く
(電源を切る)

2 本体底面の乾電池をすべて外す

3 コンセントにコードを差し込む(電源を入れる)

4 画面が赤く点灯し、「000」が表示されたら、電波が受信されるまで1時間程度待つ

5 正確な日時の表示やONLINE、受信バーの表示が出れば受信完了

6 本体底面に乾電池を入れてカバーを閉める
※電池残量不足の場合は新しい電池に交換

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課(担当・橋本) ☎32-6716

福井大学×美浜町から生まれた

みんなでまちづくりプロジェクト活動報告会

◆みんなでまちづくりプロジェクトとは

町では、美浜らしいにぎわいを創ることを目的に、みはまシナプスプロジェクトの一環として、福井大学と連携し、地域の課題解決や魅力創出に向けた調査を行ってきました。

みんなでまちづくりプロジェクトでは、令和5年4月から町内の小学生11人と美方高校生6人が、学年や校区の垣根を越えて3つのグループに分かれ「獣害対策」「あそび場の創出」「駅前活性化」をテーマに、遊具の工場見学や模型の製作、空き家を活用したカフェの出店等、自分たちのアイデアを実践し、学びを深めてきました。

◆活動報告会を実施

2月23日に、戸嶋町長をはじめ、保護者やプロジェクト協力者、学校関係者が出席し、福井大学生と子どもたちによる活動報告会が開催されました。これまで活動してきた3つのグループが、町の課題や取り組んだきっかけ、活動の成果、活動を通して学んだこと等を発表しました。

チーム名と活動内容

- ◎チーム光合成：自然の中に遊び場をつくる!(遊具模型作り)
獣害対策をテーマに、触れると音が鳴る遊具の模型を製作
- ◎チームスベリダイズ：近くに遊具をつくる(遊具模型作り)
あそび場の創出をテーマに、2人同時に滑れる滑り台の模型を製作
- ◎チームカフェの日：空き家カフェ開催!!(1日限定カフェの日実施)
駅前の活性化をテーマに、空き家を活用したカフェをオープン

発表では「考えをまとめる力や自分たちで行動する力がついた」「美浜のことをもっと好きになった」等の意見があり、自身の成長を感じるとともに町に対する関心が高まる機会となりました。



↑活動の成果を発表するチーム光合成(左)と完成した遊具の模型(右)



↑遊具の模型を戸嶋町長に説明するチームスベリダイズ(左)と完成した遊具の模型(右)



↑活動の成果を発表するチームカフェの日(左)とカフェ出店当日の様子(右)



↑プロジェクト協力者等の全員で記念撮影

Interview
みなでまちづくりプロジェクトにご協力いただいた株式会社ジャクエツ やすひろ 今川 泰博 さん

どこの自治体も人口減少と若者の流出に頭を悩ませておられますが、これからの子どもたちにも決して他人事では無い事業が待ち受けています。

今回のプロジェクトを通して、子どもたちが考え、協力しながら「まちづくり」という大きなプロジェクトに取り組むことは素晴らしい経験になったと思います。

「すず」と住みたくなる美浜町を目標にすきっかけになったと思います。

いろいろな方々の協力を得ながら活動を進められたことは大きな意味があり、弊社もその一旦を担えた事が光栄でした。子どもたち同士での意見交換の場面は wonderful です。

みはまシナプスプロジェクトでは、これからも子どもと大人がつながる場づくりや学びと挑戦が広がる取り組みを続けていきます。

Interview
みなでまちづくりプロジェクトを運営した福井大学国際地域学部 ひびき 吉田 響 さん

美浜町の良さを地元の子も大切に知ってほしいという思いでこの活動を始めましたが、活動していく中で子どもたちだけでなく、僕たちも成長させていられました。

これからも美浜町にそれぞれの形で関わっていきたく思います。

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・大同) ☎32-6701

↓戸嶋町長(左)にナップサックを手渡す大岸社長(右)



**MM ネット地域貢献プロジェクト
ナップサックを贈呈**

2月20日に、美方ケーブルネットワーク(株)が町内の小学校に入学予定の新1年生に、ナップサックを贈呈しました。

この贈呈は、同社が地域貢献プロジェクトの一環として今年度から行っているものです。

大岸朝秀社長は「町内の小学校に入学する新1年生の学校生活に役立ててほしい」と話していました。

↓一進一退の攻防を繰り返す選手たち



**集中力と瞬発力が勝利のカギ
第63回美浜町民卓球大会**

2月25日に、第63回美浜町民卓球大会が総合体育館で開催され、町内の各地区から5チーム35人が参加しました。

選手たちは、白熱したラリーを繰り返して、チャンスボールには力強いスマッシュを打ち込んでいました。

大会結果は次のとおりです。
優勝 久々子 準優勝 金山 3位 郷市A

↓究極のドラム・アートを披露する DRUM TAO



**DRUM TAO 30周年記念舞台
THE TAO 夢幻響**

2月25日に、DRUM TAO 30周年記念舞台「THE TAO 夢幻響」がなびあすで開催されました。

DRUM TAOは、和太鼓を中心に篠笛や三味線等を使用したパフォーマンスを行う集団で、令和5年に結成30周年を迎えました。

当日訪れた約400人の観客は、和太鼓が紡ぎ出す鼓動や篠笛の美しい旋律に終始魅了されていました。



↑来場者を魅了した和太鼓パフォーマンス



まちウォッチング
atching

↓石野宏行常任推進委員長(右)から目録を受け取る加藤教育長(左)



**北陸労働金庫敦賀支店地域推進委員会
町立図書館に児童図書を贈呈**

2月28日に、北陸労働金庫敦賀支店地域推進委員会が町立図書館に児童図書34冊を贈呈しました。

この児童図書は、同委員会が社会貢献活動の一環として開催した地域交流行事であるハマベリーでのイチゴ狩りの参加費の一部と募金で購入したものです。

加藤教育長は「この児童図書を十分に活用し、利用者に喜んでいただけるよう努めたい」と話していました。

↓源氏物語を朗読する野々宮氏(左奥)



**穏やかな声で聴く物語
春の朗読会 源氏物語を聴く**

3月3日に、「春の朗読会 源氏物語を聴く」がなびあすで開催されました。

読み手には、司会者やナレーターとして活動している野々宮のりこ氏を招き、源氏物語(与謝野晶子訳)より「桐壺」と「帚木」を一部抜粋して朗読されました。

来場者約30人は、野々宮氏のやさしく穏やかな声で読み上げられる物語の世界に引き込まれていました。

↓こんにやくが入った「かみなりごはん」と小麦で作った幅広麺を野菜等と煮込んだ「おつきりこみ」風の汁物を食べる児童たち



**沿線地域の郷土料理を堪能
北陸新幹線ウェルカム給食**

2月13日に、北陸新幹線ウェルカム給食が町内の各小・中学校で提供されました。

これは、北陸新幹線敦賀開業を記念し、沿線地域の郷土料理等を昨年9月から毎月提供しているものです。

この日は、群馬県の「かみなりごはん」と「おつきりこみ」風の汁物が提供され、児童たちは初めて食べる味に舌鼓を打っていました。

↓繻子別冊「昭和時代の佐田」を贈呈する佐田伝統文化保存会の皆さん



**佐田区の話し言葉や言い伝えを冊子で継承
「昭和時代の佐田」を贈呈**

2月20日に、佐田伝統文化保存会が言い伝え等をまとめた冊子「昭和時代の佐田」を町に贈呈しました。

この冊子は、佐田区の伝統行事等を紹介している冊子「繻子」の別冊として、佐田伝統文化保存会が区民への聞き取り等を行い制作したものです。

佐田伝統文化保存会の中道会長は「冊子という形でずっと語り継がれていってほしい」と話していました。